

乳酸菌ラクトコッカスラクチス H61 の摂取による 肌の改善効果

これまでに老化促進モデルマウスを用いて乳酸菌ラクトコッカスラクチス H61 が皮膚の潰瘍発生の抑制効果や脱毛の抑制効果等、皮膚の老化抑制効果を有することを見出しています。本研究では、H61 株のヒトにおける効果を検証する目的で、H61 株の摂取がヒトの肌の状態へ及ぼす影響を調査した結果を紹介します。

☆ 技術の概要

1. 畜産草地研究所内女性ボランティア（30人）に H61 株加熱処理菌体（60mg:400 億個程度）を含むバレイショデンプンまたはバレイショデンプンのみ（プラセボ）を秋～冬期に 8 週間摂取させた際、30 代及び 40 代では菌体投与の有無にかかわらず体の水分量の季節的な減少が見られたのに対して、50～60 代では H61 株摂取群のみで摂取 8 週間後において肌の乾燥が抑えられていました（図 1）。
2. 肌の状態に関するアンケート調査では 30 代、40 代、50～60 代の全年代において H61 株摂取群では約 3 割の方が「毛穴が目立ちが改善された」と回答しました。
3. 加熱処理菌体の効果が確認されたことから、生菌を含む発酵食品以外にも様々な加工製品（サプリメント、菓子、ペットフード等）に H61 株の利用が可能です。

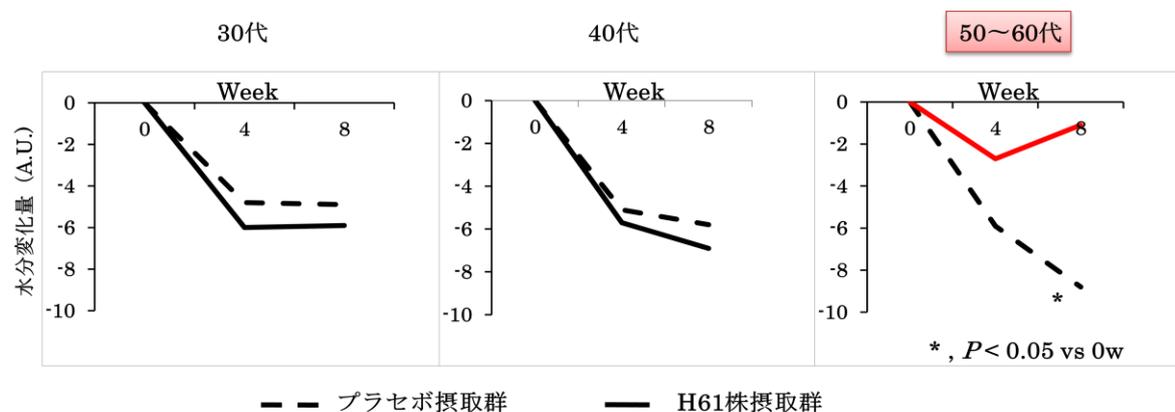


図 1 秋～冬期における被験者の前腕水分量の変化

$P < 0.05$: 危険率 5%で有意な差がある。A.U.:任意の単位

☆ 活用面での留意点

1. H61 株の肌状態改善作用のメカニズムについては現在解析中です。
2. 詳細については、畜産草地研究所・情報広報課（電話：029-838-8611、問い合わせフォーム <https://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/inquiry/tech.html>）にお問合せください。

（独）農研機構 畜産草地研究所 畜産物研究領域 木元広実